

## 社会保障委員会 *NEWS*

発行：社保委員会事務局

### ■ 最高気温34℃をこえる中、今田院長先頭に職員80名参加 で塩釜・多賀城の仮設住宅457件訪問、143件で面談。

社保委員会では、6月30日に仮設住宅に入居した方の健康調査を目的に仮設住宅への一斉訪問を行いました。訪問には、塩竈市の最高気温が34.2℃になる真夏日の中、今田院長先頭に医師3名・看護師25名を含む総勢80名が参加、塩竈市・多賀城市の仮設住宅6カ所・457件を訪問し143件で面談しました。また、訪問の際には、熱中症についてのチラシを配布して、注意を呼びかけました。



全体の面談143件中、調査回答いただいたのは114件で、回答内容は以下のとおりです。

<睡眠について> 寝付きが悪い方30名(26.3%) 早く目覚める方41件(28.7%)  
<食事について> 食欲なくたべられない方13名(9.1%) 震災後やせた方34名(23.8%)  
\*震災後体重減少した方で、5キロ以上減少4名、10キロ以上減少3名、13キロ減少した方1名。  
<血圧測定した方> 33名中最高血圧150以上の方13名、うち通院加療中の方3名

血圧が高い方や体重減少が大きい方で通院歴がない方8名について、仮設入居者への支援を行うため設置したパーソナルサポートチームで今後個別に対応していきます。

**<多くのお宅で部屋にあげていただき、お話をうかがいました。ほとんどのお宅は、クーラー使用せず、室内温**

**度が30℃以上のお宅も。クーラーの使い方がわからない、という高齢者も多い>**

訪問したお宅では、多くのお宅が「坂病院さんですか、避難所ではお世話になりました」「どうぞ、どうぞ、上がってください」とあげていただき、じっくり話をしてくれました。お話は、津波や震災時の話がほとんどですが、「仮設住宅は話し相手がない」「隣の音が筒抜け」「通院・買い物が不便」などの苦情・要望も次々出されました。お部屋の温度計は30℃を越しているお宅がほとんどにも関わらず、クーラーは全く使用せずに窓を開けているだけ。「経済的に大変だ」「先行き不安だから」と節約している状態です。

また、少なくない高齢者の方が、「クーラーの使い方がわからない」「カギのかけかたもわからない」というかたもいらっしゃいました。

**<塩釜・伊保石仮設住宅では、訪問前日の29日に独居高齢者が熱中症で死亡>**



塩釜・伊保石仮設住宅訪問中に警察官が数名いたため聞いたところ、29日に高齢男性が熱中症で死亡しているのが発見されたとのことでした。一人暮らしでカギをかけていたため、発見が遅れたようだったとのことでした。

以下、各仮設住宅ごとに参加者の感想から、抜粋しました。

裏面に続く→

<塩釜・伊保石：135戸>

・一人暮らしの方でお部屋に入れていただいたが、室温35℃、血圧180/80だった。エアコン使わず、水分もあまりとっていないといっていたので、熱中症の話をしてきた。

・家の中の方が暑かった。エアコンの使い方がわからずに困っていた。  
・島で暮らしていたが子供を頼って移ってきた方々が数軒。皆さん、家も舟も流され、畑ものり乾燥機もやられて、もう島には戻れない、2年後どうするか考えられない、と話していた。

・独居男性は、1日2食のコンビニ弁当という方も多かった。

～「助けてもらっているので、ぜいたくはできない」「しょうがない」「あきらめた」と遠慮がちに話される方が多かった。～



<塩釜体育館：23戸>

・空き室が多かった。クーラーを使用している方はいなかった。  
・平日でも若い方が在宅されており、仕事がない方が多いのかと感じた。

<多賀城・山王：45戸>

・仕事がない、年金が少ない、義援金支給の見通しが無い、など経済的に困難なお宅が多かった。前にすんでいたところの支払い(ガス・電気・水道・家賃)の請求で困っていると。  
・軽自動車で運送業していたが、車が流されローンだけ残った。義援金で車を買ってと考えている。仕事の話は来てるが、車がなくてできない。

・談話室を開放して入居者が交流できる場にしてほしい、という要望が多かった。来週7日の坂病院の健康相談会を楽しみにしている家が多かった。毎週やってほしいと。

～7/4に神先生の漢方外来にいくけど被災証明書が遅れていて、自己負担免除証明書ももらっていない、と相談受けた。窓口で支払い大丈夫なようにしておきますから、安心しておいでください、とお話した。～



<多賀城・城南：54戸>

・ほとんどが留守だった。お会いできた方は、皆さん「暑い」「狭い」「音が漏れる」「プライバシーがない」と言っていてショックだった。  
・隣近所のつきあいは、ほとんどないようだ。坂病院の健康相談会は良い機会になると思います。

<多賀城・多賀城公園：162戸>

・震災後、毎日頭痛が続き食事もまともにとれていない、という方がいたので、受診を勧めてきた。病院に戻って予約をチェックしてみたら、明日受診予約が入っていたので安心した。

・話し始めるととまらない様子でした。皆さん、話をしてつらい思いを吐き出したいと感じました。話した後にスッキリした様子で「暑いのにありがとう」と言われた。

・市外に避難していた方で「辛いことはたくさんあったけど、やっぱり多賀城に帰ってくると落ち着くんだよ」と言っていたのが印象的でした。熱中症のチラシは、喜ばれていました。

・野球場のグラウンドが一つの街並のようになり整備され、道路もあって驚いた。7/21の坂病院の健康相談会は皆さん歓迎してました。無料のお茶・コーヒーを楽しみにしてました。

<多賀城・高橋：38戸>

・仮設に入居できてホッとしたと喜んでいる方が多かった。  
・一人暮らしの方は、話し込む方が多く、寂しいのかも察せられた。逆に、こちらが励まされた。

坂病院では、仮設入居者支援のためのパーソナルサポートチームを設置して、行政や他の病院・団体と連携していきます。  
<今後の仮設住宅での健康相談会：木曜学習時間>

7/7山王

7/14国府多賀城

7/21多賀城公園

<他団体からの健康相談コーナー要請>

7/16みやぎ生協お譲り会  
(みやぎ生協大代店)

\*お問い合わせは、神倉(PHS 5221)まで。